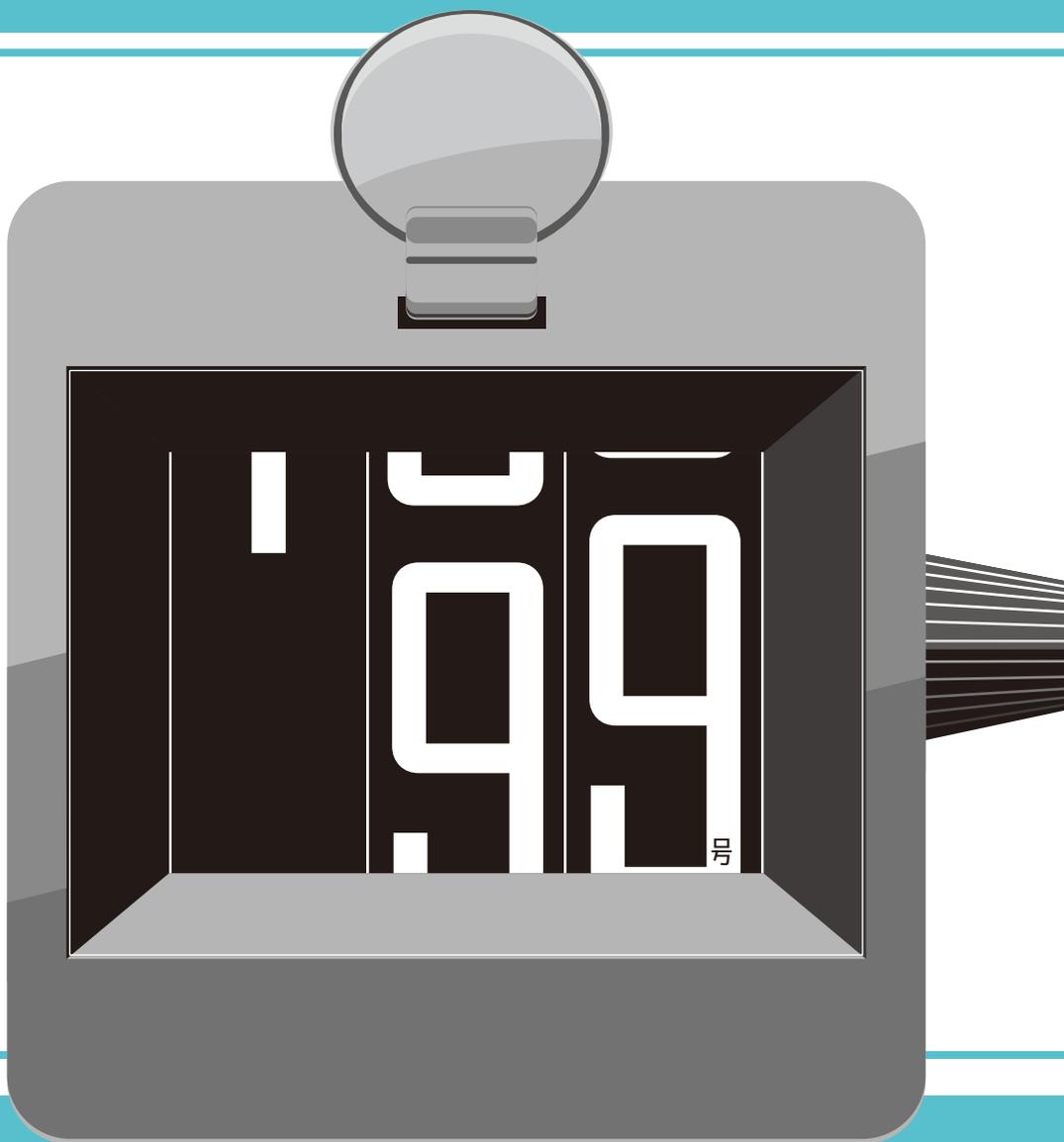


イマデガワでイチバンの地域情報誌

2024
5月号

イマ*イチ

特集：「きょうから始める今出川」



これがキョウジュの生きる道 2024

大野 隆 教授

同志社大学経済学部教授

TAKE FREE

同志社大学
今出川校地
学生支援課

同志社大学
× 広告研究会
add's

CONTENTS

- p02-05 特集「きょうから始める今出川」
- p06 特集（ピックアップ店舗①） 出町ろろろ
- p07 特集（ピックアップ店舗②） 大雄燕
- p08-09 つながり スタジオクレアーレ
- p10-11 連載 これがキョウジュの生きる道 2024
経済学部 大野 隆 先生
- p12-13 出張版スポーツアトム
- p14-17 WOT・CT
ボランティア支援室だより
CAMPUS INFORMATION
- p18-20 コラム「私の定番」
読者プレゼント
編集後記

特集：「きょうから始める今出川」

今出川で一番の地域情報誌『イマ*イチ』
100号につなぐ、原点回帰の1号。

1

出町座

出町榊形商店街にある

映画 × 書店 × カフェのカルチャー拠点

〒602-0823
京都市上京区今出川通出町西入上ル三芳町 133

不定期

@demachiza

09:00~22:00 (日によって変動)



2

SASAYAIORI+ 京都御苑

京都御所と寺社仏閣、茶道お家元の御用を務めて
300余年の歴史をもつ「笹屋伊織」のカフェ

〒602-0881
京都市上京区京都御苑3

@sasayaiori_cafe

月曜日、年末年始

10:00~16:30 (L.O.16:00)

3

松乃家

同志社大学生のおなかと心を満たす

ボリュームたっぷりなカツ丼が人気のうどん屋さん

〒602-0031
京都市上京区室町通上立売下る裏築地町 98

日曜日、祝日は不定休 (日によって変更あり)

11:00~16:00
17:00~21:00



4

Hamac de Paradis 寒梅館

種類豊富なランチと大きなグラスに詰め込まれたパフェを
求めて定期的に通いたくなる学食兼カフェレストラン

〒602-0023
京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町 103
同志社大学寒梅館 1F

日曜日

@hamackanbaichan

平日 11:00~15:00
17:00~21:00 (L.O.20:00)
土曜 11:00~15:00 (夜は予約制)



今出川の 定番新定番

~同志社大学エリア~

この春から今出川で新生活を始める新今出川人に向けて
今出川の定番、新定番のお店を紹介します。

6 → 出町 3 3 3 p.6

7 → 大雄蒸 p.7

PIC UP!



5

汁なし担々麺ラアノウミ

手作りラー油と数種類のスパイスを混ぜた
独自のブレンドが自慢の京都市内唯一の汁なし担々麺専門店

〒602-0024
京都市上京区上立売町 1-7 瑞祥ビル B1F

不定期

@raanoumi_imadegawa

11:00~15:30 (L.O.15:15) ※大学休講時は 15:00 まで
17:00~21:30 (L.O.21:00)



今出川の 定番新定番

～北野天満宮エリア～

11 とようけ茶屋

豆腐と生湯葉を素材とした食事を楽しめる
温かい餡と生姜の風味がマッチした生ゆば丼は性別問わず大人気。

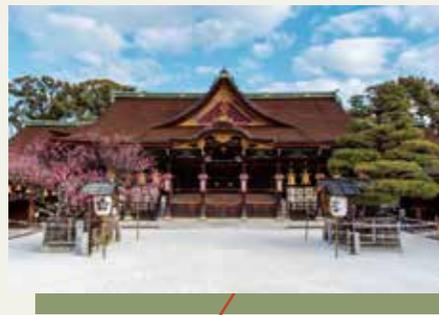
〒602-8384
京都市上京区今出川通御前西入紙屋川町 822
飲食 11:00～14:30(L.O.14:00)
売店 9:00～17:30
CLOSE 木曜日、25日営業、月2回不定休



8 大正製パン所

大正8年創業、地元民に愛される老舗のパン屋さん
ピリ辛なカレーパンと自家製クリームをたっぷり挟んだクリームパンが人気

〒602-8473
京都市上京区今出川通千本東入る般舟院前町 136
CLOSE 日曜日、月曜日、祝日
@taishouseipansho
8:30～18:00



北野天満宮

スポット情報★

北野天満宮

- ▶ 学問の神様菅原道真公を祀る神社
- ▶ 古来「北野の天神さま」と親しまれ、
入試合格・学業成就・文化芸能・災難
厄除祈願のお社として幅広く信仰されている。
- ▶ 春には梅、秋には紅葉を楽しむことができるため
春秋を狙って訪問するのがオススメ。



9 麵屋練之助 "NOODLE SHOP RENNOSUKE"

迷路のような住宅街にあるお洒落な隠れ家らゝ麵屋
魚介出汁100%の和風の旨味が詰まったラーメンは絶品

〒603-8313
京都市北区紫野下柏野町 56-32
CLOSE 金曜日、不定休

@_r.kyoto_
11:30 - 14:30 (L.O. 14:30)
17:30 - 20:00 (L.O. 20:00)

12 栗餅所 澤屋

創業340年以上の京都を代表する老舗和菓子屋
注文を受けてから作られる名物の栗餅はもちもちで絶品

〒602-8384
京都市上京区今出川通御前西入紙屋川町 838-7
CLOSE 水曜日、木曜日、毎月26日
9:00～17:00
(売り切れ次第終了)



10 北野プリン Harutsuge

可愛く魅せるプリン専門店
種類豊富な味や硬さから自分好みのプリンが見つかるかも

〒602-8383
京都市上京区西今小路町 898
CLOSE 不定休

@kitanopudding_harutsuge
10:00～17:00





出町ろろろ

お昼のろろろ弁当 ¥1400 (税込)

■ はじまりは「つながり」から
にぎやかな商店街の隣にひっそりと佇む「出町ろろろ」。お客様が覚えやすいように、と付けたその名前を掲げながら、有機野菜が中心の和食を提供してもう17年になる。

出町ろろろが使う有機野菜は京都の大原で栽培されているのだが、その農園と同志社大学には意外なつながりがあった。お店が開店する前、店主の田中さんはある縁でその農園と知り合ったという。実はその農園が、当時同志社大学が管理する畑であったのだ。地域とのつながり、農園とのつながりを大切にしている出町ろろろは地元の人や観光客にも愛される予約必須の人気店だ。

■ 和食一筋の店主
店主の田中さんは、料理を始めてから30年間ずっと和食に向きあってきた。その理由を聞くと「和食しか知らないからね」と朗らかに笑う。「和食はみんなが食べ慣れた味で、生まれた時から食べていますから。食べてみて、いいなと感覚的に分かる料理なんです」と語る田中さんからは、和食に関わってきた丁寧さと優しさが感じられた。



■ 有機野菜をふんだんに使った「ろろろ弁当」

今回ご紹介するのはランチタイム限定の「ろろろ弁当」。売り切れ御免の人気メニューだ。8つの小皿に乗った鮮やかな緑が目を引く野菜料理と、出汁をたっぷり含んだ分厚いだし巻き卵旬野菜のかき揚げに、香ばしいお焦げが空腹を誘う土鍋ご飯。まさに日本人が食べたい！と思う和食が目の前に並べられて、箸を持つ手がうずくのは誰でも同じだろう。この店を訪れるお客様たちは、メニュー表に書かれた料理名を見ながら、ひとつひとつゆっくりと味わうのだ。

季節によって仕入れる野菜も異なるため、どんな料理が食べられるのか、それを楽しみに訪れてみるのも楽しいだろう。



〒602-0824
京都市上京区今出川通寺町東入一真町 67-1

第2・4日曜日、毎週月曜日

@demachi_rororo

11:30 ~ 売り切れ次第終了 (火水木)
11:30 ~ 13:30 最終入店 (金土日)
18:30 ~ 20:30 最終入店 (金)
18:00 ~ 20:30 最終入店 (土日)

大雄燕

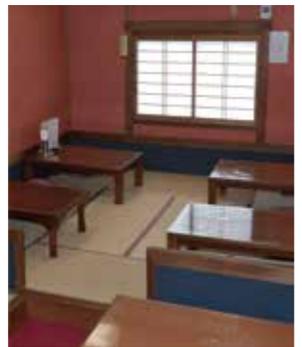
■ 父から継いだ町中華

鞍馬口の住宅街に店を構えるのは、老若男女誰にでも愛される中華料理店「大雄燕(だいゆうえん)」。ノスタルジックな店内と、嗅覚を刺激する匂いに心が躍ってしまう。

■ ポリユーム満点の「同志社大学定食」

頭上のメニュー表にずらりと並ぶのは、市内六大学の名前を冠した「大学定食」。大学によって料理の内容も異なり、来店するたびに注文を変えてみるのも楽しみの一つだ。今回頂いたのは「同志社大学定食」で、酢豚とかに玉、ごはん、スープがセットになったもの。強すぎない酸味と甘味が絡んだところけるような豚肉と、シャキシャキした野菜の酢豚が絶品だ。

ほかにも回鍋肉や八宝菜といった中華料理を、おなかいっぱい食べられる六種類の大学定食に、あなたもぜひチャレンジしてみてください。



同志社大学定食 ¥1100 (税込)

■ 國本さん流「町中華の楽しみ方」

昔から親しまれてきた町中華には、どこか特別な雰囲気を感じられる。そんな中はじめて来店する時、少し躊躇してしまう人もいるのではないだろうか。この悩みに対して國本さんは「ぜひ店に入ってきてほしい」と言っており、町中華の楽しみ方を教えてくれた。その方法とは「同じ料理を食べ比べてみる」こと。ひとつの料理をとっても、その味はもちろん店によって異なるもの。自分のお気に入りの味を見つけることを目的に、いろいろなお店を訪れてみてほしい。



〒602-0011
京都市上京区室町通鞍馬口下森之木町 462-1

第1・3火曜日 / 毎週水曜日

@daiyuuen

11:00 ~ 14:30
16:30 ~ 22:00

もともと顔見知りだったこともあり、「cafe cirque」様のオーナーが経営するアンティークショップから家具を仕入れるようになったという。重厚感のある落ち着いたセットで、「近年流行している『アンティーク家具を使ったおしゃれな空間で写真を撮りたい』というお客様のニーズに応えられるようにしています」と山下さんは語る。



スタジオクレアーレ

075-414-1228 IG:@studiocrearekyoto



〒 602-0936
京都市上京区武者小路通新町西入西無車小路町 597



火・水



地下鉄「今出川」駅から徒歩 5 分



10:00 ~ 18:00



つながり

Vol. 4

cafe cirque

スタジオ
クレアーレ

「イマ*イチ」をきっかけに「今出川地域」を知り、そして新たな出会い、繋がり、創出をめざす企画「つながり」。今回は、12月号に掲載した「cafe cirque」様のご紹介で「スタジオクレアーレ」様を取材しました。

まちの写真館

地下鉄「今出川」駅から徒歩5分、武者小路通を進んだ先に位置する「スタジオクレアーレ」。もともとは店主の山下頭優さんのお祖父様の代から57年続く呉服屋だったが、お父様の代から写真館としての営業を開始され、今年で27年目を迎える。山下さんは家業を継ぎ、大学卒業後からカメラを始めたという。

写真で見える成長

「遊んでいる時の自然な写真は写真館でなくても撮れるが、カメラに視線を向けてきちんとポーズを決める写真はプロに頼むからこそ撮ることができる。そんな写真館でしか撮れない写真を大切にしている」と山下さんは語る。お子様はきちんとポーズを決めて撮影できたという自信につながり、その様子を見てご家族は子どもの成長を感じることができるとも話している。もちろん子どもと視線をあわせて話し、ご家族も含めて楽しんでもらうことも忘れない。

毎年訪れる常連のお客様とはなかなか雰囲気撮影が進む。子どもとは友達のように仲良くなり、そのご家族も徐々にリラックスした表情で撮れるようになるのだとか。「ご家族みなさんが成長していく様子を見れるところがカメラマンとして嬉しいですね」と山下さんは話す。

こだわりの撮影以外にも

め度たい機会に撮ることが多いからこそ、写真館で撮影するという体験そのものを楽しんでほしいというこだわりがあるという。たとえばお客様自身での写真撮影を禁止しているスタジオも多い中、「スタジオクレアーレ」では「その日の思い出として持って帰っていただきたい」という思いのもと、



このスタジオでは成人式や七五三といった年中行事から、ウェディングや卒業記念写真など幅広く扱っている。店内に入るとアンティーク家具やドライフラワーで飾られたシックで落ち着いた雰囲気の写真館が迎えてくれる。奥に進むと自然光もよく入る白いセットのスタジオがあり、様々な写真を撮ることが出来る。

スマートフォンなどで撮影の間に自由に撮影することができる。

また、ホームページを見やすくしたり予約しやすい仕組み作りもこだわりのひとつ。ホームページにはスタッフのプロフィールやプランなどがわかりやすく書かれており、実際に撮影する際にギャップを感じにくくしている。

京都市内だけでなく大阪、滋賀、兵庫など多くの地域からお客様が来られるのだとか。同志社大学から近いこともあり卒業記念で訪れる大学生、海外からの旅行者など客層も幅広い。

「長年続く町の写真館として、何度も訪れていただけような、思い出の写真館にしたい」と山下さんは語ってくださった。こだわりの写真館だけでなく体験そのものを楽しめる「スタジオクレアーレ」でぜひ撮影してみたいかがらうか。





買って良かったと言うモニター。自分なりの研究室に出来るのも教授の魅力だという。

ここまでの話を聞いて、自由度の高い環境とクリエイティブに富んだ面白い人に出会えるかどうか、それがキョウジュの人生の充実度に大きく影響しているのが分かるだろう。

シビアな世界だからね、ここは。

神戸大に編入してからは、元々研究者になりたいという思いから大学院に進み、本格的に研究者になるための準備を進めていく。ゼミの指導教員に大学院でも指導を受けることになるが、同じ研究者を目指すことで先生を今までの視点で見られなくなった、とキョウジュは語る。

研究者に限った話ではなく、親や先生と同じ仕事をするということは、たとえ尊敬していても相手を客観的に見ざるを得ない、想像よりも厳しく大変な世界だという。

それでも大学院卒業後に人生グラフが上昇しているのは、学会での発表が評価されたり研究していく中で楽しさが芽生えたことがモチベーションになったという。神戸国際大学に3年間の任期付き教員として採用された時は、就職氷河期ということもありその先の人生に不安を覚えたが、学会での評価が功を奏し立命館大学の教授になる。研究面でアウェイな環境に立たされながらも、後継者育成や学会への貢献など様々な努力が実を結び、ついに念願であった同志社大学の教授になる。

長年のモチベーションであった同志社大学の教授となった現在、この大学で出来ることは何か、キョウジュは常に探している。

「今までの話を聞いて、自由度の高い環境とクリエイティブに富んだ面白い人に出会えるかどうか、それがキョウジュの人生の充実度に大きく影響しているのが分かるだろう。」

日常に活用できる考え抜く力

キョウジュは自身の研究において「考える」に重きを置いている。考えるという堅苦しい、難しいイメージを持つかも知れないが、実はこの考える力は日常にも応用することが出来るのだ。

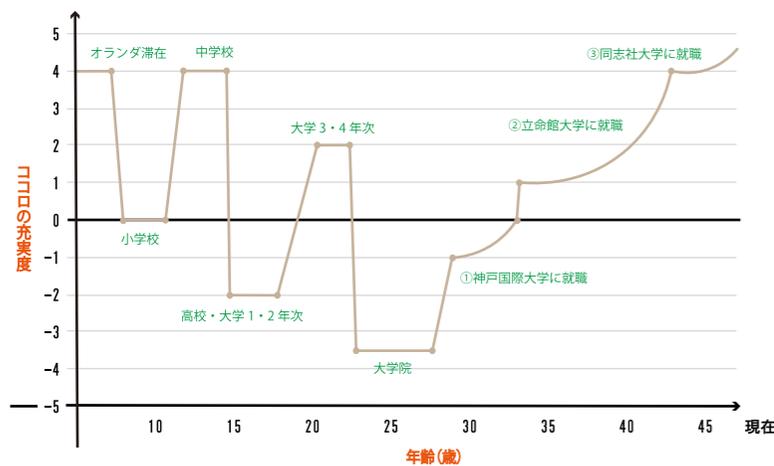
キョウジュは品薄状態の話題の商品を配送ルートまで徹底的に考え抜き、手に入れたこともあるのだそう。「同じ事を考えるならゼミ生に負ける気がしない」と豪語するのも納得である。

これは余談だが、将来息子に飲んでもらう（もしくは売ってもらう）という考えの元、生まれ年である2015年のヴァンティージのワインを100本以上集めるという子煩悩な一面も垣間見られた。

学生に必要なもの

「今の学生は興味や関心で動く人が多いけど、そこから分析して何か新しいものを生み出すというステージに行ける人がすごく少ない。目の前にいろいろな刺激物があるのは良いことのようにも見えるが、立ち止まって内省する時間がないという考え方にははっとさせられた。」

そのような思いからキョウジュのゼミでは、「分析するとはどういうことか」を学生に教えている。例えば、大丸京都店に来た客を見てお店の課題を考えたといったワークをはじめに、立命館大学経済学部の大野敦先生（弟のゼミとの交流など、創造性に富んだ授業を展開している。情報過多と言われるこの時代、一度立ち止まって考える時間を設けても良いのではないだろうか。）



大野キョウジュの人生の折れ線グラフ



同志社大学 経済学部教授

大野 隆

イマ会えるイチ番偉い人「大学キョウジュ」の人生を折れ線グラフで掘り下げる連載。2024年度も継続!



極限まで考え抜く、その先はもう運の世界。

2024年の「キョウジュの生きる道」のスタートを飾るのは、同志社大学経済学部の大野隆先生だ。キョウジュの専門は政治経済学。ゼミや授業で専門を教える傍ら、後継者育成を目的としたサマースクールなども開く凄腕の教授だ。

大学卒業までは、面白い人に

出会えるかすごく大事

幼い頃は、研究者の父親の都合によりオランダで生活をする。現地で慣れないオランダ語を駆使するという厳しい状況に立たされながらも、とても楽しかったと語る。

というのも、オランダで日本人は特別視されていたこともあり、何をやっても「個」として認められたのだそう。しかし日本に戻ったからは、オランダの自由な雰囲気とはかけ離れた画一的な雰囲気になった。ギャップを感じるようになる。

中学でもそれは変わらなかったが、通っていた塾で「こいつらは生物の構造が違う」と思われるほどの人物にたくさん出会ったことで、キョウジュの人生は再び明るくなる。

しかし高校時代は自由も少なく創造性を求められるような教育を受け、浪人の末に入学した立命館大学でも明確な目標を持てずにいた。そんな生活にけりを付けるため、意を決して神戸大学への編入にチャレンジし、キョウジュはその挑戦を見事成功させる。



▲ 安定感のある滑りを見せる宮本

3月1日～5日、野沢温泉スキー場（長野県）で第94回全関西学生スキー選手権大会が行われた。アルペンGS第1戦、クロスカントリー女子1部10kmフリー、男子2部15kmフリーが行われた初日。女子はアルペンGS1本目で鈴木が9位、森口が10位と、ポイントゲッターは2人にとどまった。2本目はキャンセルとなり、1本目の順位がそのまま反映された。クロスカントリーでは渡邊が2位でフィニッシュし、厳しい船出。一方、男子はアルペンで4人がポイントを獲得し、クロスカントリーでは二宮が2位と大差をつけフィニッシュ。まだ優勝を狙える位置につけた。

2日目はクロスカントリー女子1部5kmクラシカル、男子2部10kmクラシカルが行われた。女子は渡邊が意地の滑りを見せ、男子は二宮が他を寄せ付けない滑走で1位に輝いた。

4日目はアルペンSL第2戦が行われ、緊張感が漂う中1本目がスタート。女子は森口が4位、松尾は8位、橋詰は10位につけポイントを獲得する。2本目では松尾が6位に浮上し、初の表彰台へ登った。京産大との差を縮めるも、6点差をつけられたまま4日目が終了。最終日を残して優勝の可能性は消滅した。男子1本目は宮本が3位、西村が6位。2本目では大学最後のレースとなった西村が勢よくスタートし、順位を1つ上げてフィニッシュした。



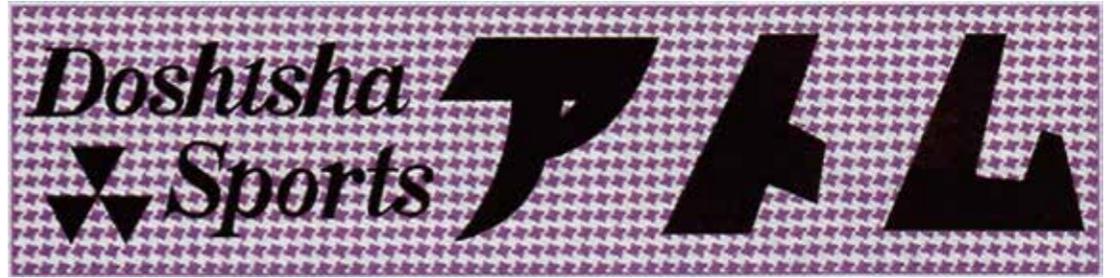
▲ 青谷から部旗を受け取る渡邊

最終日は花形のクロスカントリー女子1部リレー、男子2部リレーが行われた。女子の第1走者は近藤。青谷がアンカーの渡邊に1位でつなぐと、最後のコーナーで部旗を受け取り笑顔でゴールした。一方、男子はアルペンの選手が2人出場し4人で挑んだ。二宮が2部王者の意地を見せ、14分22秒9をマーク。アンカーの西村がトップに躍り出た。

健闘を見せたものの、男子は35点差で龍谷大に敗れ、女子はわずか3点差で連覇を逃した。新主将の青谷は、「競技スキーを楽しむことが王座奪還への近道」と力強く語り、王者へ振り返りことを誓った。

スキー部

出張版



体育会の情報誌「同志社スポーツアトム」がイマ*イチに出張掲載
体育会の活躍をイマ*イチの読者にもお届けします。



▲ 行射をする畑本

今シーズン最後のインドアとなった今大会。コンパウンド部門では1セット3射を5セット行い、その合計点で勝敗が決定する。1・2イリミネーションラウンドには畑本と岡山が出場。予選ラウンドの順位により、初戦から2人が同校争いを繰り広げる。部員一同が見守る中、141・139で勝利の女神は畑本に微笑んだ。この結果を受け、畑本はゴールドメダルマッチへ、岡山はブロンズメダルマッチへ出場を決めた。迎えたブロンズメダルマッチ。岡山の相手は夏のアウトドアインカレで畑本を破り、全国1位に輝いた猛者だ。第3セットまで一進一退の戦いを繰り広げるも、第4セットで29点を叩き出すとその後リードを広げ、2点差で試合をものにした。試合を終え、「いつか勝ちたいと思っていた選手に勝つことができよかった」（岡山）と嬉しさをあらわにした。

運命のゴールドメダルマッチが幕を開けた。第1・2セットを同点で終え、迎えた第3セット。畑本はこの日最低点の27点を出し、初めてリードを奪われる。しかし、続く第4セットでは29点をマークし逆転に成功。第5セット

では観客が固唾（かたず）を吞んで見守る中、リードを守り切った畑本に軍配が上がり、日本一に輝いた。「10年間アーチェリーをやってきて目標としていた全国優勝を達成することができてよかった」（畑本）。積年の夢をかたえ、喜びをかみ締めた。

次に控える春季リーグ戦を見据えて一致団結し、昨年達成できなかったリーグ優勝を果たせ。



▲ 優勝決定後ガッツポーズをする畑本

2月28・29日に長崎県立総合体育館で第22回全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会が行われた。コンパウンド部門では畑本と岡山が決勝ラウンドに進出。岡山が3位に入賞し、畑本が学生最後の大会で優勝を果たした。

アーチェリー

火曜日には名作を観よう！

開講期間中の毎週火曜日、寒梅館クローバーホールでも
 映画上映を中心とした催しを開催
 会場 寒梅館クローバーホール（今出川校地 寒梅館地下1階）
 料金 入場無料



イタリア ネオレアリズモの世界 ロッセリーニを中心に

◎開場は各回 15 分前 1940～50年代にイタリアで人々の現実を描き出したネオレアリズモ（新現実主義）。
 先駆者の一人であるロッセリーニ監督を中心とした特集です。

- 5月7日（火）**
 ① 15:15 『戦火のかなた』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1946年/イタリア/126分
 ② 18:30 『ドイツ零年』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1948年/イタリア/74分
- 5月14日（火）**
 ① 15:15 『郵便配達は二度ベルを鳴らす』 監督：ルキノ・ヴィスコンティ/1942年/イタリア/118分
 ② 18:30 『無防備都市』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1945年/イタリア/103分
- 5月21日（火）**
 ① 15:15 『不安』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1954年/イタリア・西ドイツ/75分
 ② 18:30 『火刑台上のジャンヌ・ダルク』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1954年/イタリア・フランス/67分
- 5月28日（火）**
 ① 15:15 『イタリア旅行』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1953年/イタリア/83分
 ② 18:30 『ストロンボリ』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1949年/イタリア/99分
- 6月4日（火）**
 ① 15:15 『インディア』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1958年/イタリア・フランス/88分
 ② 18:30 『殺人カメラ』 監督：ロベルト・ロッセリーニ/1948-52年/イタリア/83分
- 6月11日（火）**
 ① 15:15 『甘い生活』 監督：フェデリコ・フェリーニ/1960年/イタリア・フランス/167分
 ② 18:30 『道』 監督：フェデリコ・フェリーニ/1954年/イタリア/104分
- 6月18日（火）**
 ① 15:15 『ドイツ零年』
 ② 18:30 『戦火のかなた』
- 6月25日（火）**
 ① 15:15 『無防備都市』
 ② 18:30 『郵便配達は二度ベルを鳴らす』
- 7月2日（火）**
 ① 15:15 『火刑台上のジャンヌ・ダルク』
 ② 18:30 『不安』
- 7月9日（火）**
 ① 15:15 『ストロンボリ』
 ② 18:30 『イタリア旅行』◎終了後、ゲストによるトークを予定



観る立場から表現する立場へのシフトのキッカケになるような
 演劇・音楽などのワークショッププログラムを開催します。



映画などさまざまな文化を紹介するレクチャーなどの配信企画「WOT/CTチャンネル」。
 学生支援センターYouTubeサイトにて配信中です。

主催・お問合せ

同志社大学今出川校地学生支援課
 TEL 075-251-3217（ホール担当） E-mail ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

- * 諸事情により内容が変更になる可能性があります。ご了承ください。
- * ご来場の際は公共交通機関をご利用ください（駐車場・駐輪場はございません）。
- * ホール内は飲食禁止です。ご了承ください。
- * 未就学児の入場はご遠慮ください。

フォローをお願いします！



寒梅館ホールスタッフ
 インスタグラム↑

木曜日には何かがある！

木曜日には何かがある！を合言葉に開講期間中の毎週木曜日
 寒梅館ハーディーホールにて映画上映やコンサートなど様々なプログラムを開催します
 会場 寒梅館ハーディーホール（今出川校地 寒梅館地下1階）
 料金 同志社大学学生・教職員（同志社諸学校含む）無料
 一般 1000円、Hardience 会員・他大学生 500円



〈日・EU フレンドシップウィーク〉

オリンピック前夜祭 パリ / フランス

◎開場は各回 30 分前

共催：同志社大学図書館

5月16日（木） ①15:30 ②18:30

『軽蔑 60周年 4K レストア版』

Le Mépris by Jean-Luc Godard

1963年/フランス・イタリア・アメリカ/104分
 監督・脚本：ジャン＝リュック・ゴダール
 原作：アルベルト・モラヴィア
 出演：ブリジット・バルドー、ミシェル・ピコリ



初期ゴダールの傑作メロドラマ

©1963 STUDIOCANAL - Compagnia Cinematografica Champion S.P.A. - Tous Droits réservés

5月23日（木） ①15:30 ②18:30

『アメリカ デジタルリマスター版』

Le Fabuleux Destin d'Amélie Poulain by Jean-Pierre Jeunet

2001年/フランス/121分
 監督：ジャン＝ピエール・ジュネ
 出演：オドレイ・トトゥ、マチュー・カソヴィッツ



幸せになる

©2001 UGC IMAGES-TAPIOCA FILM-FRANCE 3 CINEMA-MMC INDEPENDENT-Tous droits réservés

5月30日（木） ①15:30 ②18:30

『あの頃エッフェル塔の下で』

Trois souvenirs de ma jeunesse by Arnaud Desplechin

2015年/フランス/123分 *そしてきみを思い出す*
 監督・脚本：アルノー・デプレシャン
 出演：カンタン・ドルメール、マチュー・アマルリック

21世紀の日本映画 part 2

◎開場は各回 30 分前

6月6日（木） ①15:30 ②18:30

千年かけても逢いたい人がいます

『千年女優』 Millennium Actress by Satoshi Kon

2001年/87分
 監督：今敏 音楽：平沢進
 出演（声）：荻原美代子、小山菜美



©2001 千年女優製作委員会

6月13日（木） ①15:00 ②17:00 ③19:00

どれほどの速さで生きれば、きみにまた会えるのか。

『秒速5センチメートル』 5 Centimeters per Second
 a chain of short stories about their distance by Makoto Shinkai

2007年/63分
 原作・脚本・監督：新海誠 主題歌：山崎まさよし
 出演（声）：水橋研二、近藤好美



© Makoto Shinkai / CoMix Wave Films

6月20日（木） ①15:30 ②18:30

『偶然と想像』 世界は偶然に溢れているー

Wheel of Fortune and Fantasy by Ryusuke Hamaguchi

2021年/121分
 監督・脚本：濱口竜介
 出演：古川琴音、渋川清彦



©2018 フジテレビジョン ギャガ AOI Pro.

6月27日（木） ①15:30 ②18:30

『万引き家族』 Shoplifters by Hirokazu Kore-eda

2018年/120分
 監督・脚本：是枝裕和 音楽：細野晴臣
 出演：リリー・フランキー、樹木希林

盗んだのは、絆でした。

5月9日（木）上京区憲法月間
 「映画のつどい」開催

* 詳細は決定次第公式サイトなどにて告知予定



寒梅館 アトリウムコンサート

5月21日(火)22日(水)23日(木)

12:15~13:10

入場無料

寒梅館1階アトリウムでのランチタイム演奏会です。ピアノや器楽の演奏、合唱などの学生団体が出演します！ぜひ気軽にお越しください。



寒梅館 SUMMER芸術祭

7月7日(日) 開演14:00

寒梅館ホール

入場無料

フラダンス、音楽、演劇のイベントです！同志社大学の公認団体と学生支援課主催ワークショップ参加メンバーが出演します。各30分くらいの時間枠でいろいろ楽しんで頂けます。ぜひお越しください。



CLAP ホームページ
詳細が分かり次第上記QRページでお知らせします

出演団体
Meahula Nohealani(フラダンス)、同志社交響楽団
高杉征司演出
演劇ワークショップ2024発表作品

お問合せ:今出川校地学生支援課 Tel:075-251-3217 Mail:ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp



ボランティア支援室とは

幅広い分野のボランティア情報が集まる、ボランティア活動の相談窓口です。ボランティアに関する講座やイベントを行っています。ボランティア体験プログラムも主催しており、初めての人でも安心してボランティアを始めることができます。



Doボラ! ボランティア活動、はじめてみませんか?

ボランティア支援室では、初めてボランティア活動をおこなう学生も参加しやすいボランティアプログラムや講座などを開催しています。(地域の清掃活動、食や自然などの身近なテーマに応じた活動 など)



最新情報はHPをCheck!

ボランティア資料室を活用しよう!

ボランティア資料室では、現在募集中のボランティア募集チラシや、ボランティアに関する書籍が置いてあるなど、ボランティアに関する情報収集ができる場所です。

今出川校地では、良心館地下ラウンジ内にあります。ラウンジが開室している時間帯(平日:9時~21時)は、いつでもチラシや書籍を閲覧できます。授業の合間や帰り際などに、ぜひ気軽にお立ち寄りください。



ボランティア相談 受付中!

どうやってボランティアを探せばいいかわからない、たくさんの情報がありすぎて、どれに参加すればいいか迷う、そもそもボランティアってどんな活動?など、ボランティアに関する相談もボランティア支援室(寒梅館1階)やボランティア資料室内で受け付けています。



最新情報はInstagramチェック!

相談受付時間やボランティアの最新情報は、Instagramをチェックください!



DOSHISHA VOLUNTEER

問い合わせ先

同志社大学 学生支援センター ボランティア支援室

窓口開室時間 平日 9:00~17:00 (11:30~12:30は閉室)

- 今出川校地 寒梅館1階 [TEL]075-251-3236 [e-mail]ji-volun@mail.doshisha.ac.jp
- 京田辺校地 成心館1階 [TEL]0774-65-6777 [e-mail]jt-volun@mail.doshisha.ac.jp

移り行く定番

進学で京都に移り住んで2年が経ち、時の流れの速さに驚いています。京都には進学するまで一度も訪れたことがなかったのですが、お気に入りの定番スポットが徐々にできてきて、この町の一員になりつつある自分を感じます。

私の定番は、大学が閉まるまで友人と一緒にテスト勉強をし、夕食を大学周辺の店で食べ、その後は自宅勉強を続けることです。友人とは大学に入学してすぐに知り合い、意気投合してきました。

しかし、大学生活が3年目に入り、専攻分野ごとに授業が分かれてしまい、今まで毎日顔を合わせていた友人との時間も週に1回になってしまいました。また、残りのテストも減ってきて、私の日課も少なくなっていくだろうと思うと寂しい気持ちになります。

ただ、京都に定番が出来たように、新しい生活になれば定番も変わっていくのだと考えると、わくわくします。

『秒速5センチメートル』© Makoto Shinkai / CoMix Wave Films

読者プレゼント

5月号の感想を送っていただいた読者の皆様から抽選でペア10名様に「WOT映画鑑賞ペアチケット」をプレゼントいたします。
使用期限は今号掲載の上映分(6/27最終上映)までです。

メールアドレス(2024imaichi@gmail.com)に

1. お名前
 2. ご住所・郵便番号
 3. 年齢(任意)
 4. イマ*イチ5月号を入手された場所
 5. イマ*イチ5月号で一番良かったページとその理由
 6. イマ*イチ5月号全体を通してのご感想(任意)
 7. 上京区でおすすめのお店とその理由(任意)
 8. 今後のイマ*イチに期待すること(任意)
- を明記の上、お送りください。

締切：2024年5月31日



※個人情報の二次利用はいたしません。

当選者の発表は、発送をもってかえさせていただきます。

◀こちらのQRコードからも簡単にご応募いただけます。

私の定番

自分にとって定番とは何かを考えると、それは習慣であり、習慣にしたいほどに気に入っている時間、空間なのかなって思います。

例えば僕は、一限しかない日は家を少しだけ早く出て、パン屋に寄り朝ごはんを済ませてから授業を受け、終わったら大学近くの喫茶店で甜茶を飲むというのが定番になっています。これは朝が苦手な自分が憧れる。おしゃれな朝を楽しめる方法なのでとても気に入っています(笑)

少し変わった定番としては、同志社大学烏丸キャンパスすぐ近くの歩道橋に登るといのがあります。夜になると、真っ直ぐに伸びる道の先にライトアップされた京都タワーが見えるんです。それがなかなか良くて(笑)考え事をする時とかにびったりなのでよく散歩しに行きます。

皆さんにも自分にしかない定番ってありますか？ 願わくは残りの大学生活でそういったお気に入りの時間を沢山見つけたいと思う今日この頃です。

第39回 函館キャンプ

2024年9月4日(水)～9月7日(土)

新島襄の足跡を辿り、自分自身を見つめ直す旅に出かけませんか？

1864年、当時21歳だった新島襄は国禁を犯して脱国します。時代の潮流を読み、常識を覆して新しいことを模索する姿勢は同志社創立の根幹を成しています。みなさんは当時の新島と同年代です。そんなみなさんが新島の思いや生き方に触れながら、多様な参加者と共に脱国の地である北海道函館市を訪れます。同志社で学ぶことの意味や自分自身を見つめ直し、新しいことにチャレンジする意志や夢を明確化・言語化していくことを目的とした3泊4日のプログラムです。

募集定員

20名

応募多数で定員を超過した場合は選考を実施します

プログラム参加費

18,000円

現地集合・現地解散のため、往復交通費が別途必要です

申込期間・方法

5月 6日(月)00:00

～

5月26日(日)23:59

申込フォームはこちら



【問合せ先】今出川校地学生支援課 ji-gakse@mail.doshisha.ac.jp

編集後記

編集長
佐々木瑠偉

副編集長
吉政尊盛

チーフカメラマン
佐々木瑠偉

チーフデザイナー
太田夕貴

チーフライター
島田真衣

会計
竹中翔悟

広報
塚本向日葵

ライター

鳥井麻衣 (特集 p6-7)

岩本花梨 (つながり)

武田宙 (連載)

カメラマン

佐々木瑠偉 (特集・つながり・連載)

堂山知輝 (つながり)

デザイナー

山本智天 (表紙・裏表紙)

竹中翔悟 (目次)

太田夕貴 (特集 p2-5)

細川瑞生 (特集 p6-7)

谷山茉優 (つながり)

雑喉碧羽 (連載)

岡田華鳳 (コラム・読者プレゼント
・編集後記)

イマデガワでイチバンの地域情報誌

イマ*イチ

発行日：2024年5月1日

発行：同志社大学 学生支援機構

今出川校地学生支援課

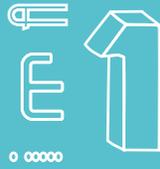
075-251-3270

編集：同志社大学広告研究会 add's



0 00000

「今出川で過ごす人」のためのフリーマガジン



イマ*イチ

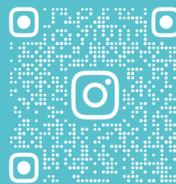


Thank you for reading!

2023年度のイマ*イチも
見られます!



Instagram



X(旧 Twitter)



次回はいよいよ第100号!